

長い物語を読もう③ 全体をふり返る

🔍 たしかめ --- 🗣️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

📅 きょうの
めあて

お話全体を読んで、人物の変化と、心に残ったことを考えよう

🔍 読む文章

- ① 手紙を出してから、いくつもの季節がすぎた。
- ② ある年の春、時計台のまわりに足場が組まれた。町の人たちがお金を出し合って、時計を直すことになったのだ。
- ③ そして、直った時計台が はじめて正午をむかえた日。カーン——。音が、坂の町いっぱい ひびいた。
- ④ ナギのとなりで、川口さんが言った。「ナギさんの手紙が、町を動かしたんだね。」ナギは、てれくさそうに時計を見上げた。

🗣️ いっしょにやってみよう

れい 時計を直すことになったのは いつ？

- ① ①と②の^{だんらく}段落を見る。 ▶ ② ①「いくつもの季節がすぎた」の後。 ▶ ③ ある年の春

✎ やってみよう

♡ できたところまでで OK

- ① 時計を直すことができたのは なぜ？

☐ 町の人たちがお金を出し合ったから
 ☐ ナギが一人で直したから
- ② 最後の場面で、ナギはどんな気持ち？

☐ うれしいが、少しいれくさい
 ☐ くやしい
- ③ 三つの単元で読んだお話全体で、ナギがしたことの中で心に残ったことと、そのわけを書こう。

答え

1. 町の人たちがお金を出し合ったから 2. うれしいが、少しいれくさい
3. 例：役場に手紙を書いたこと。一人の行動が町を動かしたから。

漢字（きそう）

たしかめ いっしょに やってみよう（3もん）

きょうの
めあて

きそうことに使う漢字「旗・競・争・敗」を読んで書こう

きょうの漢字

音 キ
訓 はた
はた こっき
旗・国旗

音 キョウ
訓 きそ(う)
きょうそう きそ
競走・競う

音 ソウ
訓 あらそ(う)
きょうそう あらそ
競争・争う

音 ハイ
訓 やぶ(れる)
しっばい しょうはい
失敗・勝敗

いっしょにやってみよう

れい 走る速さをくらべる「きょうそう」は？

① 走ってくらべる
ときは「走」。

② ほかの
くらべ合いは「争」。

③ 答え 競走

やってみよう

できたところまでで OK

① 線の漢字の読みがなを書こう。

(1) 旗をふって おうえんする。

(2) 速さを競う。

(3) 一位を争う。

(4) 試合に敗れる。

② □に漢字を書こう。

(1) 国

(2) する。

(3) 勝 が決まる。

(4) をかかげる。

③ () に合う言葉に○をつけよう。

(1) 百メートル (競走・競争)

(2) ねだんの (競走・競争)

答え

1. (1) はた (2) きそ (3) あらそ (4) やぶ 2. (1) 旗 (2) 競争 (3) 敗 (4) 旗 3. (1) 競走 (2) 競争

内容をつかんで音読しよう

🔍 たしかめ --- 🗣️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

📖 きょうの
めあて

文章の内容の^{ないよう}大体を^{いしき}意識しながら、音読しよう

🔍 読む文章

- ① ナギは、坂を一気にかけ上がった。「間に合った。」
② 時計台のはりが、ちょうど正午を指した。カーン——。音が、
町いっぱい広がっていった。

🗣️ いっしょにやってみよう

れい 音読の前に、何をたしかめる？

① どんな場面か。

② 人物の気持ちや、
出来事の
大事なところ。

③ ^{ないよう}内容の大体を
つかんでから読む

✎ やってみよう

♡ できたところまでで OK

💡 声に出すのがむずかしい場合、このプリントでは心の中で読んだり指で追ったりして取り組んでもよい。

① 「間に合った。」は、どんな気持ちで読むとよい？

☐ ほっとして、うれしそうに

☐ ねむそうに

② 「カーン——。」の後は、どう読むとよい？

☐ 少し間をあけて、音の広がりを感じさせる

☐ すぐ次の文を早口で読む

③ あなたなら、どこを強く読む？ その文と、わけを書こう。

答え

1. ほっとして、うれしそうに 2. 少し間をあけて、音の広がりを感じさせる
3. 例：「間に合った。」を強く読む。ほっとした気持ちが伝わるから。

話し手が伝えたいことの中心

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

話し手がいちばん伝えたいことを
とらえて、自分の考えをもとう

聞く話 (読んでもよい)

聞く話 (架空)

「この町には、古い時計台があります。昔は、正午になると鐘が鳴り、町の人はその音で時間を知りました。今は止まっていますが、わたしは、この時計台を町の大切な宝物として、残していきたいと考えています。」

いっしょにやってみよう

れい 話し手がいちばん伝えたいことは？

① 「考えています」
に注目する。

② 時計台を
残していきたい。

③ 時計台を
町の宝物として
残したい

やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 話し手の考えを支えている事実？

☐ 昔は、正午に鐘が鳴って時間を知らせていた

☐ 時計台は新しい

② 伝えたいことの中心がよく表れている言葉は？

☐ 残していきたい

☐ 古い

③ 話を聞いて、あなたが考えたことを一文で書こう。

答え

1. 昔は、正午に鐘が鳴って時間を知らせていた 2. 残していきたい
3. 例：昔の物を残すと、町の歴史を知るきっかけになると思った。

漢字（元気な体）

たしかめ いっしょに やってみよう（3もん）

きょうの
めあて

体のことに使う漢字「^{すこ}健・^{こう}康・^{やしな}養・^あ浴」を読んで書こう

きょうの漢字

音 ケン
訓 すこ(やか)
けんこう ほけん
健康・保健
左は にんべん

音 コウ
けんこう
健康
上は まだれ

音 ヨウ
訓 やしな(う)
えいよう きゅうよう
栄養・休養

音 ヨク
訓 あ(びる)
にっこうよく あ
日光浴・浴びる
左は さんずい

いっしょにやってみよう

れい 「けんこう」を漢字で書くと？

① 「健」は にんべん。

② 「康」は まだれ。

③ 答え 健康

やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 線の漢字の読みがなを書こう。

(1) 健康に気をつける。

(2) 健康な体。

(3) 栄養のある食べ物。

(4) シャワーを浴びる。

② □に漢字を書こう。

(1) ^{けん}□ ^{こう}□ しんだん

(2) 休 ^{よう}□ をとる。

(3) 日光 ^{よく}□ をする。

(4) ^あ□ びる

③ 正しい送りがなに○をつけよう。

(1) シャワーを（浴びる・浴る）。

(2) 体を（養う・養なう）。

答え

1. (1) けん (2) こう (3) よう (4) あ

2. (1) 健康 (2) 養 (3) 浴 (4) 浴

3. (1) 浴びる (2) 養う